

## 当院で承認された未承認・適応外医薬品等について

当院では、以下の未承認・適応外医薬品を用いた診療を当院の倫理委員会、院内規定に基づき承認いたしました。対象となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合でも、診療において不利益を被ることはありません。本診療に同意できない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### 記

実施内容	進行癌患者における消化器症状緩和目的のオランザピン投与
実施責任者	愛和病院 病院長 山田 泰史
対象者	当院で治療を受ける進行癌患者で、医師が消化器症状緩和に対してオランザピン投与が必要と判断した患者
承認日	202308/07
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p><b>【目的・意義】</b>  進行癌では消化器症状が認められることがあり、既存の治療では改善が乏しい場合があります。オランザピンは抗精神病薬であり、統合失調症等で使用される薬剤ですが、制吐作用が認められており、抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状に対しても適応が認められております。しかし、抗悪性腫瘍剤投与がされていない進行癌患者の消化器症状に対しては、添付文書上では適応外とされております。一方、国内の緩和医療分野のガイドラインでは、先行する制吐剤が無効な場合等にオランザピンの投与が推奨されており、また、海外の臨床試験や国内の臨床報告等でも効果の報告があると同時に、実際に臨床現場で処方されることがあります。</p> <p>上記理由により、当院では医師が進行癌患者で消化器症状緩和の目的でオランザピン投与が必要と判断した患者に限り、その使用を認めます。</p> <p><b>【想定される不利益と対策】</b>  投与により、高血糖や糖尿病性ケトアシドーシス等が認められることがあります。また頻度は少ないとされているが、錐体外路症状（ジスキネジア、アカジジア等）や悪性症候群が認められる場合があります。副作用が疑われる場合は、速やかに投与を中止し、対処療法に努めます。</p>
お問い合わせ先	愛和病院 薬剤部 代表 026-226-3863